

# 事業概要シート

施策：（総計）子育てと仕事の両立（まち・ひと）子育て環境の充実 <>は、29年度の当初予算

事業名： 認可外保育施設認可化移行支援事業	新規	予算額		72,134 千円
				<>
財源内訳		国庫支出金	25,908 千円	
		県支出金	31,014 千円	
		地方債		千円
		その他		千円
		一般財源	15,212 千円	

## 【事業の目的・概要・対象】

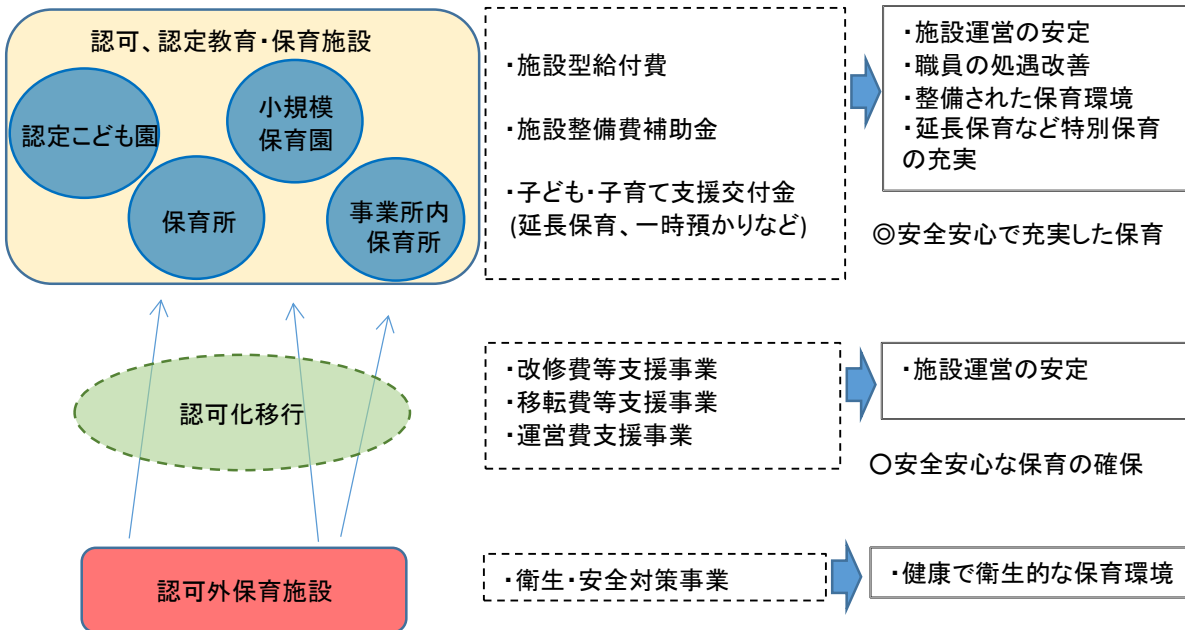
既存の認可外保育施設の認可化移行支援を行う。

- (1) 対象となる認可外保育施設  
平成31年4月1日までに認可を目指す施設で、認可外保育施設として届出をし、2年以上の運営実績がある又はその見込がある施設。
- (2) 認可化移行に係る定員  
施設ごとの定員は、各認可外保育施設における平成29年4月1日現在の届出定員を上限とし、認可基準、実際の利用状況等を踏まえ設定する。届出定員が20人未満の場合は、20人とする。
- (3) 認可化移行支援事業  
認可外保育施設の移行に対しては、移行計画書の提出により、支援事業を活用できるものとする。
  - ① 認可化移行改修費等支援事業（基準額：1施設 32,000千円）
  - ② 認可化移行移転費等支援事業
 

移転費	：1施設	1,200千円	
仮設設置費	：1施設	3,800千円	
  - ③ 認可化移行運営費支援事業
 

児童1人当たり月額	：4歳児以上	18千円
	：3歳児	22千円
	：1,2歳児	57千円
	：乳児	107千円

## 認可化移行のイメージ



## 【背景】

女性の社会進出が進み保育ニーズが急増するなか、全国的に教育・保育施設の不足及び保育士不足による待機児童が発生している状況である。国においては「待機児童解消加速化プラン」に続き、「子育て安心プラン」として待機児童解消に必要な受け皿確保策を積極的に進めており、市においても、新たな教育・保育施設の開設や保育士確保対策を進めている。安心して子育てを行う施策の一環として、認可外保育施設の認可化移行に取り組む必要がある。

担当課	こども政策課	問合せ先	54-9100
-----	--------	------	---------

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	認可化移行支援事業者数	事業者			3	0	0
②		目標値					

### 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	認可化移行保育施設	施設			3	0	0
②		目標値					

### 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費					72,134		72,134
国庫支出金					25,908		25,908
県支出金					31,014		31,014
地方債							0
その他							0
一般財源					15,212		15,212
人件費					5,486		5,486
職員					0.50人		0.50人
時間外勤務							0h
嘱託員					1.00人		1.00人
フルコスト	0	0	0	0	77,620	0	77,620

妥当性 (市の関与)	認可外保育施設の運営及び施設整備の支援を行い、安全、安心な教育・保育サービスの確保を行うことは、市として妥当性がある。
有効性 (施策貢献度)	核家族化の進行や共働き家庭が増加したことなどから、教育・保育ニーズは拡大し、安全な教育・保育環境も求められている。認可外保育施設の認可化移行により、安全、安心な教育・保育環境が整備されるため、子育て環境の充実に大きな効果がある。
効率性 (コスト)	認可外保育施設の認可化移行による安全、安心な保育環境の整備は、子育て環境の充実のための施策であり、負担は妥当である。

1次評価	保育の質の向上に寄与する事業であり適正である。
2次評価	質の高い保育環境を整えるため、本事業による取組が必要と考える。